

新規事業採択時評価結果（平成30年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：村山 一弥

事業の概要

事業名	国道58号 浦添拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	内閣府 沖縄総合事務局
起終点	自：沖縄県浦添市城間 至：沖縄県那覇市安謝	延長	2.9 km		
<p>事業概要</p> <p>国道58号は、沖縄西海岸に沿って南北に走る大動脈で、沖縄本島中南部の人口集中地域と、北部の観光・リゾート地域を結ぶ主要幹線道路である。このうち、浦添拡幅は、浦添市城間と那覇市安謝に至る延長2.9 kmの8車線拡幅事業である。</p>					
<p>事業の目的、必要性</p> <p>本拡幅区間は、県都那覇市のある南部地域と中部地域を結ぶ位置にあり、あらゆる交通が集中する国道58号の交通混雑の緩和を図るとともに、都市間連携の強化による経済活性化を支援する事業である。</p>					
全体事業費	約150億円	計画交通量	約64,500台/日～約70,900台/日		
<p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見
【沖縄県知事】
予算化に同意する。本道路は沖縄本島中南部の人口集中地域と北部の観光・リゾート地域を結び、交通及び物流の基軸を担っており、生活・産業・観光に係るあらゆる交通が集中することから、国道58号の区間の中でも特に慢性的な渋滞が発生している状況にある。現在、本区間の並行路線となる沖縄西海岸道路の整備が進められており、全線開通には相当な時間を要するため、渋滞緩和の早期発現の観点から本道路の拡幅事業は急務である。

学識経験者等の第三者委員会の意見
・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件
■費用対便益：便益が費用を上回っている。
■手続きの完了：都市計画決定手続き完了（H30.3）

事業評価結果

費用対便益	B/C	2.1	総費用：119億円 （事業費：109億円 維持管理費：9.5億円）	総便益：253億円 （走行時間短縮便益：245億円 走行費用減少便益：8.9億円 交通事故減少便益：-1.1億円）	基準年 平成29年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.9	(交通量 -10%)	B/C=2.3	(交通量 +10%)
		事業費変動	B/C=1.9	(事業費 +10%)	B/C=2.3	(事業費 -10%)
		事業期間変動	B/C=1.9	(事業期間 +20%)	B/C=2.3	(事業期間 -20%)
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠		
		渋滞対策	◎	浦添拡幅整備による交通容量の拡大により、浦添地区の交通混雑が緩和 【国道58号浦添地区の混雑度】 現況 1.51 ⇒ 整備後 1.18 (約2割改善)		
		事故対策	-	注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	歩行空間	○	自転車が新たに整備されることで、歩行者の安全性が向上。		
		住民生活	○	国道58号の旅行速度の向上により、那覇市と浦添市の通勤・通学の速達性が向上。		
		地域経済	◎	県内経済を牽引している那覇市と浦添市の都市間連携の強化により経済活性化を支援。 【国道58号の旅行速度】 整備前 25.5km/h ⇒ 整備後 34.3km/h (約3割向上)		
		災害	-	注目すべき影響はない。		
		環境	-	注目すべき影響はない。		
		地域社会	-	注目すべき影響はない。		
		事業実施環境	○	・都市計画決定手続き完了（H30.3） ・浦添市長より国道58号の渋滞緩和を要望		

採択の理由

費用便益比が2.1と、便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、那覇都市圏における交通渋滞の緩和や地域経済の活性化も期待できる等、事業効果が高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。